

2016 年 10 月 31 日～11 月 7 日、板橋／日本における生徒交流の感想
(テレッタ・グロース・ギムナジウム)



Nadia Löcken

日本への旅は私にとって大きな経験となり、素晴らしい記憶を分かち合える新し友と出会うことができました。滞在中はコミュニケーションをお互いに円滑に行うことができ、全ての日本とドイツの生徒がグループとして一緒に楽しく有意義な時間を共有できたことがとても嬉しかったです。私の最も印象に残る体験の一つは、634 メートルの高さの「スカイツリー」に行ったことです。そこからは広大な東京の大部分を見渡すことができ、東京はとてつもなく大きいと改めて驚きました。というのも、東京と比べると私達の住むレーア市は世界で最も小さい村に見えるからです。東京はその規模にもかかわらずとてもきれいな街で、巨大な鉄道網のシステムには感嘆させられます。何が一番気に入ったか、私には決められません。なぜなら、私達は毎日様々な素晴らしい経験をしたからです。私はこの交流を通じて、人はどこに住んでいようが、例えば音楽、映画、テレビあるいは学校、一緒に座って笑うなど極めて日常的なことといったように、いつも同じ事柄で結ばれているということを学びました。仮に言葉が全く違ったとしても、そこに障害はありません。もちろん時には誤解もありましたが、日本の人たちはとても親切で何の問題もありませんでした。他国の文化を身近に知ること、自分の語学力を深めること、そして他国の人と出会うことはまさに私に多くの楽しみをもたらし、日本への旅に際して持っていた私の願望は全て満たされました。この旅を可能にしてくれた全ての人、またそこに参加してくれた全ての人に、このような忘れがたい時間を作ってくれて感謝します。

またいつか日本へ来ます！

Klaas Onnen

北園高校との交流は素晴らしい経験でした。生徒たちはみな素晴らしく、僕はそれほど日本語ができなかったけれど、皆とはいつもよく意思疎通ができていました。秋葉原と新宿には多くの人がいて、高層ビルもあり、間違いなく東京で最も印象深い場所でした。都庁の訪問では、東京のスカイラインやスカイツリーも東京タワーも見渡すことができ、格別でした。僕たちはほぼ毎晩北園の生徒達と日本食を食べ、カラオケでは北園生といつも楽しく過ごしていました。日本の文化は非常に多様で興味深く、とてもこの短い期間では知り尽くすことはできませんが、一部学んだことはそれだけで素晴らしいものでした。数多くの寺院や神社には常に驚かされますが、そこに集まる人々の集団を見ると、東京はモダンでほぼ未来化された 1000 万人を抱える都市であるということがすぐに分かります。僕はうどん、ラーメンからお好み焼きにたこ焼き、そして寿司に至るまで日本の食べ物が好きです。

もし可能なら、また改めて日本に来たいです。

Carina Hillmann

日本との交流は私にとって素晴らしい経験で、わくわくするものでした。私は昨年日本の生徒達がドイツを訪問した際の交流会に参加していたので、私の当時のパートナーとの再会、そして今回は彼女の家族に会えること、また彼らがどんな生活をしているのかを見ることが楽しみでした。日本とドイツでは数多くのことが違っていました。例えば私のホストファミリーのお父さんは、私がちょうど起きた 5 時 45 分にはもうキッチンに立って料理をしていました。さらに驚いたことは、電車の中吊り広告の多さです。私達は日本でこんなにもたくさんのことを体験したのです！確かに日本での日々はハードでしたが、それぞれにハイライトがありました。例えば、(ゲーテ・インスティトゥート主催の) サッカートーナメント終了後のパーティーはよく記憶に残っています。なぜなら、そこで私達ドイツ人と日本人は一緒にたくさん笑うことができたからです。他にも、鎌倉の街並みはとても素敵でしたし、一方で「スカイツリー」と「東京タワー」の大きさにはとても驚かされました。東京で過ごした日々はとても居心地が良かったので、ホストファミリーとパートナーに別れを告げるのは辛いものでした。北園生と素晴らしい時を過ごし、彼らと共にたくさん笑いを共有できたこの素敵な時間がもう終わってしまったということが悲しくてなりません。今回の交流を良き記憶として留め、また日本に行ける日を楽しみにしています！